

第1回「次世代3次元内外計測の評価基盤技術開発プロジェクト」

終了時評価検討会

議事要旨

1. 日時：平成28年11月28日（月） 13:00～15:00

2. 場所：経済産業省別館6階626会議室

3. 出席者：

（検討会委員）〔敬称略・五十音順、※は座長〕

安藤 正海 東京理科大学総合研究機構 教授

※高増 潔 東京大学大学院工学系研究科 教授

兵頭 俊夫 高エネルギー加速器研究機構 特別教授

古谷 涼秋 東京電機大学 教授

（研究開発実施者）

高辻 利之 国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター工学計測
標準研究部門 研究部門長

阿部 誠 国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター工学計測
標準研究部門幾何標準研究グループ グループ長

佐藤 克利 株式会社 日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット分析システム事業部汎用分
析システム技術部X線CT設計課

（事務局）

産業技術環境局計量行政室

室長 吉岡 勝彦

室長補佐 関口 敦司

（評価推進室）

産業技術環境局技術評価室

技術評価専門職員 小木 恵介

4. 配布資料

資料1 「次世代3次元内外計測の評価基盤技術開発プロジェクト」終了時評価検討会 委員名
簿

資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について

資料3 経済産業省における研究開発評価について

資料4 評価方法（案）

資料 5 「次世代 3 次元内外計測の評価基盤技術開発プロジェクト」の概要

資料 6 評価用資料

資料 7 「次世代 3 次元内外計測の評価基盤技術開発プロジェクト」技術評価結果報告書の構成
(案)

資料 8 評価コメント票、質問票

参考資料 1 経済産業省技術評価指針

参考資料 2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準

参考資料 3 「次世代 3 次元内外計測の評価基盤技術開発」事前評価報告書

5. 議事概要

(1) 座長選出

委員の互選により、高増委員が本検討会の座長に選出された。

(2) 評価検討会の公開について

事務局から、資料 2 により、評価検討会の公開について説明し、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

事務局から、資料 3、4、7、8 により、評価の方法等について説明し、了承された。

(4) 研究開発プロジェクトの概要について

事務局及び研究開発実施者から、資料 5、6 により、本プロジェクトの概要について説明した。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・ 測定対象の標準は薄物であるが、3 次元 CT の用途を考慮すると、厚物である必要があるのではないかととの質問に対し、2 次元画像の積み重ねで 3 次元画像を構成していくので、標準としては薄物でも評価には影響しない。また、2 次元断面での分解能で性能評価できると回答。
- ・ 分解能を上げるうえで X 線源が重要だと考えられるが、どう考えるかとの質問に対し、S / N 比を上げることが重要であり、このためには、X 線源の強度を強くする必要があると回答。また、今回開発したものでは撮像に数分から数十分の時間がかかると回答。
- ・ 検出器の画素数を問われ、分解能を上げるのはスキャン方法により行っていると回答。
- ・ 標準化とはゲージが定義されることかとの質問に対し、ゲージと評価方法を定めることであると回答。
- ・ 自動車のエンジンが測定できることが望まれるが、目標に照らし、達成されたのかとの質問に対し、目標は「数十センチメートル」と設定したが、本事業で 60cm×60cm を達成した。この大きさであれば、今のエンジンであれば概ね測定可能と回答。
- ・ 資料で、各年度の計画と実績の対応、目標値と達成状況の関係、評価の目的等がわかりやすくなるよう適宜、修正することとのコメントがあった。

(5) 今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成 28 年 12 月 12 日とすることを確認した。また、第 2 回評価検

討会は平成２８年１２月２０日に書面審議とすることとした。

(以上)